

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	現代の国語			単位	2	単位
対象コース	総合	コース	対象クラス	1 年	4～7 組			
使用教科書	現代の国語 東京書籍							
使用副教材	字義で覚える常用漢字 (浜島書店)							

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>国語の教科では、「生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること」と「生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすこと」、「言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度」を育むことを目標としています。</p> <p>上述の三つの要素を向上させるためには、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが必要です。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養います。以上が本校の「現代の国語」の目標です。</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>1、論理的な文章や実用的な文章の読解を通じて、実社会に必要な語彙や常用漢字の知識などを身につけます。</p> <p>2、複数の文章や資料を比較・検討したり、主張と論拠など情報と情報との関係について理解したりすることを通じて、推論の仕方を身につけ情報の妥当性や信頼性について理解を深めます。</p> <p>3、自分の意見を発表したり話し合ったりすることを通じて、自分の考えを的確に伝えられるよう論理展開や表現の仕方を工夫する力を身につけます。</p> <p>4、論理的な文章や実用的な文章を読み、様々な立場の意見を考慮しながら自分の意見や考えを的確に論述する力を身につけます。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1)学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「手順」を授業で体得してください。</p> <p>(2)家庭 予習で次に習う部分を読み、内容理解のための語句の意味調べをしてください。授業でそれを確認します。復習は、習った事項の整理と暗記にあててください。</p>

3 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1)知識及び技能 (40%) 様々な語彙や常用漢字の読み書き、言葉の知識など実社会に必要な国語の知識を有しているかを評価します。</p> <p>(2)思考力、判断力、表現力等 (40%) 様々な情報を的確に整理し、論理的に考える力を評価します。また、他者に自分の考えを的確に伝えるために論理展開や表現を工夫したりしながら、より良く相手に伝えようとする態度を有しているかを評価します。</p> <p>(3)学びに向かう力、人間性等 (20%) 言葉が持つ価値について認識を深め、言葉を通じて他者と関わろうとする態度を評価します。また、自己を向上させるために主体的に読書に親しむ態度を有しているかを評価します。</p>

4 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

- (1) 定期考査 → 年5回実施します。「現代の国語」と「言語文化」を合わせて出題しますが、評価は別々に行います。内容は授業での学習内容に加えて、関連する応用問題も出題します。【知識及び技能】、【思考力、判断力、表現力等】を評価する材料とします。
- (2) 小テスト → 授業の中で漢字テストなどを実施します。【知識及び技能】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。
- (3) 長期休暇の課題 → 読書感想文・演習問題を宿題として課します。【思考力、判断力、表現力等】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。
- (4) 学期中の課題 → 授業理解の確認のための宿題を課します。【知識及び技能】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。

評価における定期考査の割合

80 %

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容
1	4	視点を変える ○「水の東西」【文化】 山崎 正和 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら本文を読む力を養います。 【思考・判断・表現】 ・西洋の「噴水」との対比を通し、日本の鹿おどしの特徴を読み取ると共に、日本と西洋の水に対する捉え方の違い、また日本人感性の特徴について理解します。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の理解をふまえて、「鹿おどし」のような日本独特の文化を象徴する事柄や事物についても、考えを巡らすことができるようにします。
	5	○「技術が道徳を代行するとき」【科学】 池沢 了  	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、接続詞や指示語に注意し、具体例とその一般化の関係を意識しながら本文を読む力を養います。 【思考・判断・表現】 ・「技術」と「道徳」の関係を理解し、「技術を道徳で置き換えることの危うさ」はどのような点にあると述べられているのかを理解します。その際に、「しかし」「ところが」など逆説の接続詞の前後の内容に着目・整理し、それがもたらす効果についても理解します。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張日手自分の考えをまとめる力を養います。
	6	言葉へのまなざし ○「言葉は世界を切り分ける」【言語】 今井 むつみ 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「システム」という概念語について、辞書的な意味だけでなく本文の文脈の中で理解する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・問題提起→例示→一般化→回答という本文の構成を理解し、言葉の「『面』としての意味」や「異なる言語は異なる仕方では世界を分節すること」を読み取る力を養います。またその際に、文中で用いられている「——」の表現効果についても理解します。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張日手自分の考えをまとめる力を養います。
		○「解釈」【読者】 外山 滋比古 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「テキスト」という概念語について、辞書的な意味だけでなく本文の文脈の中で理解する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・筆者の考える「解釈」とはなにか、また「読者の解釈」と「表現の不確実性」の関係性を読み取ります。その際に、文中で用いられている「——」の表現効果についても理解します。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張日手自分の考えをまとめる力を養います。

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容
2	7	メディアを考える ○「広告の形而上学」【社会】 岩井 克人 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「一般」「逆接」「差異」「還元」「言説」という概念語について、辞書的な意味だけでなく本文の文脈の中で理解する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・本文全体の構成を把握し、「現実の動物たち」と「『動物』なるもの」がそれぞれ何のたとえとして用いられているか、その違いを読み取ります。また、資本主義社会における広告の役割と、広告が生み出す「過剰な差異」についても読みと取ります。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の理解を踏まえて、新聞やテレビの広告を見て考えたことについて、自分の言葉で表現できるようにします。
	8 9	○「時間と自由の関係について」【時間】 内山 節 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「一般」「逆接」「差異」「還元」「言説」という概念語について、辞書的な意味だけでなく本文の文脈の中で理解する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・本文全体の構成を把握し、「現実の動物たち」と「『動物』なるもの」がそれぞれ何のたとえとして用いられているか、その違いを読み取ります。また、資本主義社会における広告の役割と、広告が生み出す「過剰な差異」についても読みと取ります。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の理解を踏まえて、新聞やテレビの広告を見て考えたことについて、自分の言葉で表現できるようにします。
	10	共に生きる ○「真の自立とは」【哲学】 鷲田 清一 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、意見と根拠（理由）、問いかけとその答えを確認しながら読み、論理を把握する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・本文全体の構成を把握し、現代社会における「できる」と「できない」の構造とその問題点を読み取ります。また、「生き方」ではなく「生きることの作法」という表現をした筆者の意図について、「作法」という言葉の意味から理解する力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「自立」の在り方について、現代社会における具体的な課題を示しながら、その課題を自分の日常生活に引きつけて意見を述べられるようにします。
	11	○「共鳴し引き出される力」【共生】 伊藤 亜紗 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、筆者の体験談とそこから筆者が導いている内容の関係を確認しながら読む力を養います。 【思考・判断・表現】 ・筆者が「能力」をどう捉えているかを整理すると共に、「予防」と「予備」の違いや丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」、「『共鳴』の感覚」について読み取る力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張を踏まえた上で、「能力」について自分の考えを深めます。
	12	科学から見た人間 ○生物の多用性とは何か【環境】 福岡 伸一  	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、筆者の体験談とそこから筆者が導いている内容の関係を確認しながら読む力を養います。 【思考・判断・表現】 ・筆者が「能力」をどう捉えているかを整理すると共に、「予防」と「予備」の違いや丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」、「『共鳴』の感覚」について読み取る力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張を踏まえた上で、「能力」について自分の考えを深めます。

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容
3	1	<p>○「学ぶことと人間の知恵」【人間】 広中 平祐</p> 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、具体例とその一般化の関係を確認しながら筆者の主張を読み取る力を養います。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けながら本文を読み、筆者が考える人間の脳の「ゆとり」や「寛容性」とはどのようなものかを理解します。また、「忘却」という人間特有の能力の長所と短所、「知恵」の「広さ」「深さ」「強さ」についても読み取ることを通じて、「コンピューター」と「人間」の違いについて、関連する他の文書を相互に関連付け・比較して、自分の考えを深めます。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を踏まえた上で、「コンピューター」と「人間」について自分の考えを深めます。
	2	<p>近代の先へ ○「暇と退屈の倫理学」【倫理】 國分 功一郎</p> 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、引用と筆者の主張の関係を確認しながら、筆者の主張を読み取る力を養います。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 四段落それぞれで述べられていることを整理して、全体の構成を理解すると共に、「労働者の暇が搾取されている」とはどういうことが筆者の考えを読み取ります。また、「生きることはバラで飾られねばならない」とはどういうことか、傍点が付けられていることによってどのような効果が得られるか理解します。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 暇を得た社会の中で個人はどう生きればよいか、筆者の主張を踏まえて自分の考えを深めます。
	3	<p>○「鳥の眼と虫の眼」【文化】 石井 美保</p> 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、「表象」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解します。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 意味段落に小見出しをつけながら内容を整理し、筆者が『人間の土地』を大人になって読み返したときの「かすかな違和感」とは何かを読み取ります。また、「鳥瞰図への批判と虫の眼への接近」について、筆者の考えを読み取ります。その際に、譲歩する表現や体言止め、倒置法など様々な表現方法の効果についても理解します。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を踏まえて、物事を見る視点の重要性について、自分の考えをまとめられるようになります。

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	言語文化	単位	3 単位
対象コース	総合	コース	対象クラス	1 年	4～7 組
使用教科書	高等学校 言語文化 (数研出版)				
使用副教材	読解を大切にする要点プラス体系古典文法 改訂版 (数研出版) 必携 新明説漢文 (尚文出版) 新版 理解を深める核心古文単語 351 (尚文出版)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>国語の教科では、「生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにすること」と「生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばすこと」、「言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度」を育むことを目標としています。</p> <p>上述の三つの要素を向上させるためには、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが必要です。また、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養います。以上が本校の「言語文</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>1、古今を問わず様々は文学作品やそれについての論評などを読むことを通じて、その作品の性質や叙述、論理展開などから作品や文章に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する力を身につけます。</p> <p>2、様々な古典作品を読むことを通じて、我が国の言語文化に特徴的な語句や表現について理解を深め、言語感覚を豊かにします。</p> <p>3、文章の意味は文脈で作られることを理解し、常用漢字を文中で適切に用いる力を養います。</p> <p>4、古典の世界に多く親しみ、こ点作品を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現について理解を深めます。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1)学校 授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。ノートとは正答を記すためのものではなく、正答に至るまでの思考のプロセスを書き付けるためのものです。問題文（口頭での質問も含む）の意図を読み取り、思考し、答えを表現する「手順」を授業で体得してください。</p> <p>(2)家庭 予習で次に習う部分を読み、内容理解のための語句の意味調べをしてください。古典作品については、自分で口語訳してみることも効果的な学習法です。復習は、習った事項の整理と暗記にあててください。</p>

3 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1)知識及び技能 (40%) 様々な語彙や常用漢字の読み書き、言葉の知識など実社会に必要な国語の知識を有しているかを評価します。</p> <p>(2)思考力、判断力、表現力等 (40%) 様々な情報を的確に整理し、論理的に考える力を評価します。また、他者に自分の考えを的確に伝えるために論理展開や表現を工夫したりしながら、より良く相手に伝えようとする態度を有しているかを評価します。</p> <p>(3)学びに向かう力、人間性等 (20%) 言葉が持つ価値について認識を深め、言葉を通じて他者と関わろうとする態度を評価します。また、自己を向上させるために主体的に読書に親しむ態度を有しているかを評価します。</p>

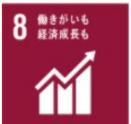
4 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか	
<p>(1) 定期考査 → 年5回実施します。「現代の国語」と「言語文化」を合わせて出題しますが、評価は別々に行います。内容は授業での学習内容に加えて、関連する応用問題も出題します。【知識及び技能】、【思考力、判断力、表現力等】を評価する材料とします。</p> <p>(2) 小テスト → 授業の中で漢字テストなどを実施します。【知識及び技能】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。</p> <p>(3) 長期休暇の課題 → 読書感想文・演習問題を宿題として課します。【思考力、判断力、表現力等】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。</p> <p>(4) 学期中の課題 → 授業理解の確認のための宿題を課します。【知識及び技能】、【学びに向かう力、人間性等】を評価する材料とします。</p>	
評価における定期考査の割合	
80	%

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか			
学期	月	学習の項目	学習の内容
1	4	古文 ○「歴史的仮名遣い」 「品詞の分類」「活用形」	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文特有の表現や仮名遣いに親しみ、正しい読み方で声を出して読めるようにします。また、単語は十種類の品詞に分類できることを理解すると共に、活用形が六種類に分かれていることを理解することができるようにします。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 母音が連続する際の読み方や古文特有の読みなどに親しみ、正しく読むことができるようにします。また自立語か付属語か、活用するかしないか等の観点から、品詞を見分けることができるようにすると共に、下に付く語によって活用形が変化することを理解し、文中の用言の活用形を考えることができるようにします。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古語と現代語の繋がりを意識し、より良い言語表現を求める観点から古語に親しむ姿勢を養います。
		○「用言の活用」	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語とは異なる古語の活用について、理解し活用の種類を見分けることができるようにします。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な用言の活用の仕方を理解し、文中の語の活用形を考えたり、文に合う形に活用させたりする力を養います。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代語との繋がりの中で古語を捉え、より良い言語表現を求める観点から用言の活用に親しむ姿勢を養います。
		古文 ○「宇治拾遺物語 児のそら寝・検非違使忠明」	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史的仮名遣いについておおむね理解し、辞書などを引きながら古語を学習することができるようにします。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主語の変わり目をとらえ、児が寝たふりをした理由と僧たちの心情について推測できるようにします。その際に、慣用語の辞書的な意味を理解し、現代語で適切な短文を作る力を養います。また「検非違使忠明」においては、「宇治拾遺物語」と「今昔物語集」に収録されているものの差異を捉え、両者の作品としての性質についても理解を深めます。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習課題を踏まえて粘り強く内容や心情の説明に取り組む姿勢を養います。
		○「竹取物語 なよ竹のかぐや姫」	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 辞書や文法テキストを調べながら本文を正確に現代語訳する力を養います。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『竹取物語』の内容を的確に捉えるとともに、派生作品について具体例をあげてその内容をわかりやすく説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指示に従って調べ学習に取り組み、自分の調べた内容を発表するなど、積極的に古文に親しみ表現を豊かにしようとする姿勢を養います。

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容
S c	2	文学的文章 ○「羅生門」 芥川龍之介 	【知識・技能】 ・本文中の漢字について、正しく読んだり書いたりできるようにすると共に、本文中の語句の意味や使われ方を理解します。また、文脈の中から小説末尾の表現の意味を適切に読み取り、下人のその後を文脈を踏まえて解釈する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・下人の人物像と心情変化をおおむね理解したうえで、自らの解釈を矛盾なく文章にすることができるようにします。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品を理解するために、学習課題を踏まえて周囲と協調しながら話し合いに取り組む姿勢を養います。
		漢文 ○「古事成語」漁夫の利、矛盾、狐借虎威、朝 	【知識・技能】 ・漢文に由来する古事成語が現代の日本語として用いられていることについて、具体例をもとに理解します。 【思考・判断・表現】 ・現在用いられる古事成語の多くが漢文に由来することを踏まえたうえで、古事成語の意味を説明したり、適切に文中で用いたりする力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代語との繋がりの中で漢文を捉え、積極的に漢文に親しみ表現を豊かにしようとする姿勢を養います。
		古文 ○「徒然草 ある人、弓射ることを習ふに」 	【知識・技能】 ・助動詞について十分理解し、辞書などを引きながら自ら進んで学習する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・漢文調の表現や修辞を正確に指摘し、作者の意図を推測しながらその効果を説明する力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に古文に親しみ、主体性をもって表現を分析し、他者にわかりやすく説明する姿勢を養います。
		○「伊勢物語 芥川」 	【知識・技能】 辞書や文法テキストを調べながら本文を現代語訳する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・和歌の修辞を正しく解釈し、本文中の和歌に込められた心情を説明する力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題を踏まえて粘り強く本文を解釈しようとする姿勢を養います。
		文学的文章 ○「舟を編む」 三浦 しをん 	【知識・技能】 ・作品読解や実際に言葉に定義することを通して、言葉が文化的背景を持っていることを理解します。 【思考・判断・表現】 ・作品の内容をおおむね解釈したうえで、「自分が編集したい辞書とはどのようなものか」を説明することができるようにします。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題を踏まえて粘り強く考察する姿勢を養います。

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

学期	月	学習の項目	学習の内容
3	11	漢文 ○「管鮑乃交」 ○「先從隗始」 	【知識・技能】 ・諸子百家が活躍した歴史的背景を理解します。 【思考・判断・表現】 ・戦国時代の歴史的背景を踏まえた上で、郭隗が賢者を招こうとした経緯を推察し、説明することができるようにします。また「先從隗始」においては、蘇秦の外交政策の内容を理解し、適確に説明する力を養います。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題を踏まえて、粘り強く課題に取り組む姿勢を養います。
	12		
	1	古文 ○「伊勢物語 東下り」 ○「伊勢物語 筒井筒」 	【知識・技能】 ・辞書や文法テキストを調べながら本文を現代語訳する力を養います。 【思考・判断・表現】 ・和歌の修辞を正しく解釈し、本文中の和歌に込められた心情を説明できるようにします。また、登場人物についての的確に捉え、現代的な価値観のもとに自分なりに感想を述べられるようにします。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に従って粘り強く本文を解釈したり、話し合いに取り組んだりする姿勢を養います。
	2		
	3	文学的文章 ○「山月記」 中島 敦 	【知識・技能】 ・作品のストーリーを文脈の中で理解することができるようにします。 【思考・判断・表現】 ・作品の展開を踏まえ、人間が虎になるという設定がもたらす効果について理解します。また、作品に哀傷が登場することによる効果を理解し、話し合いによって作品についての理解を深めます。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題を踏まえて周囲と協調しながら話し合い、物語設定について考察を深めます。
		漢文 ○「漢詩」 	【知識・技能】 ・「人間」「故人」などの語が日本語と漢文で異なる意味をもつことについて、双方の意味の違いを理解します。 【思考・判断・表現】 ・「静夜思」「月夜」「八月十五日夜……」に共通してみられる「月が空間を超えて人を結ぶ」というモチーフについて理解し、説明できるようにします。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題を踏まえて粘り強く課題に取り組む姿勢を養います。
		古文 ○「土佐日記 門出」 ○「土佐日記 帰郷」 	【知識・技能】 ・辞書や文法テキストを調べながら本文をおおむね現代語訳できるようにすると共に、漢文日記と仮名日記文学の性格の違いについて理解します。 【思考・判断・表現】 ・本文中に見られる古典常識について理解し、本文の読解に役立ててられるようにします。また、『土佐日記』の女性仮託の効果について、漢文日記との違いを踏まえて説明できるようにします。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題を踏まえて表現を分析し、自分なりの考えを述べられるようにすると共に、粘り強く考察に取り組む姿勢を養います。

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	国語科	科目	国語演習	単位	1 単位
対象コース	一貫・進学	コース	対象クラス	1 年	1～3 組
使用教科書	進研 WINSTEP	現代文1	新課程版		
	進研 WINSTEP	古典1	新課程版		
使用副教材					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

<p>学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>大学入試一般試験に対応できる学力を身につけるために、覚えるべき知識を確実に定着させることを目的としています。また、論理的思考力に磨きをかけ、大学入試過去問や模擬試験問題など、ハイレベルな問題にも果敢にチャレンジする姿勢を養います。</p>
<p>学習内容：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>主に進研模試の過去問を教材として、与えられた問題に時間内で解答するためにはどのような思考手順を踏むべきなのか、思考のプロセスを身につけていきます。</p>
<p>学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 学校では実際の模擬試験を意識し、時間どおりに問題を解くところから、自分の解答の検討・直しを行います。</p> <p>(2) 家庭 家庭では主に覚えるべき知識の確認・定着に時間を使ってください。</p>

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

<p>評価方法：何をを使って評価するのか</p> <p>定期考査は行いません。土曜授業への出席率や課題への取り組み状況の評価の材料とします。正しい答えを出せたかどうかよりも、自分の頭で問題に取り組み、自分がそのときに作れる最適解を導こうとしているか、問題と向き合う姿勢を評価します。</p>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p style="text-align: center;">%</p>

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

<p>評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 関心・意欲・態度 最適解を導き出すために最後まで課題に取り組もうとする態度を評価します。</p> <p>(2) 思考・判断 解答を導くために論理的に思考することができるかを評価します。</p> <p>(3) 技能・表現 よりよい解答にするために表現を工夫するなど、解答を作成する姿勢を評価します。</p> <p>(4) 知識・理解 覚えるべき知識は何かを理解し、正確に覚えているかを評価します。</p>
--

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				CHECK		
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主
1	4	7月進研模試対策 ○『デザインのデザイン』 原 研哉	二項対立の論理展開を押さえながら読み取る力を養います。	●	●	●
	5	○『哀しき少年』 野上 弥生子	心情の動きを読み取る力を養います	●	●	●
	6	○『伊曾保物語』	文章の流れをつかむ力を養います。また、変格活用の知識理解を深めます。	●	●	●
	7	○『沙石集』	仏教説話の面白さを理解します。また、係り結びの法則について理解し、知識を深めます。	●	●	●
	8	11月進研模試対策 ○『演劇的知について』 安田 雅弘	段落の役割に着目して読み取る力を養います	●	●	●
2	9	○『青年のお礼』 乃南 アサ	登場人物や関係性を表現に着目して読み取る	●	●	●
	10	○『宇治拾遺物語』	登場人物の人物像をつかむ力を身につけます。また、基礎的な助動詞の知識も身につけます。	●	●	●
	11	○『十八史略』	たとえ話と主張の内容をつかむ力を養います。また、否定形の知識も身につけます。	●	●	●
	12	1月進研模試対策 ○『農本主義のすすめ』 宇根 豊	文章を俯瞰する視点を養います。	●	●	●
	1	○『千年の恋人たち』 稲葉 真弓	表現の特徴・効果を評価する視点を養います。	●	●	●
3	2	○『十訓抄』	場面設定をつかむ力を養います。また、助動詞の識別の知識も身につけます。	●	●	●
	3	○『呂氏春秋』	比喩から作者の評価を考える力を養います。また、比較形の知識も身に付けます。	●	●	●
	1	実践問題演習①				
	2	実践問題演習②				
	3	実践問題演習③				

【SDGsの各ターゲットについて】
ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】
高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は
アイコンをクリック

道徳

※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に
コピーしてご使用下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

